

《大森赤十字病院 外来診療担当医一覧》

※午前受付時間 8:30~11:00 (整形外科 8:30~10:00・乳腺外科 月・金 8:30~10:00)

- ・予約のない方で当日診療をご希望の方は、上記時間帯にお越しください。但しお待ちいただくことがあります。
- ・午後の診療は循環器内科(初診)・眼科・耳鼻咽喉科を除き予約制です。
- ・医師の都合により担当医師が変更になることがあります。
- ・休日 土・日・祝・年末年始(12/29~1/3)

2019/1/4

診療科	曜日	月		火		水		木		金		備考
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
神経内科		前田	鈴木	山田	中瀬	柴田	山口	山之内 川上	山之内 伊藤	郭		
腎高血圧内科		谷口	渋谷	廣田		渋谷 谷口		廣田		葉師川		
血液内科		新患受入一時休止中										
糖尿病内分泌内科		船曳		岩田		北里	高山	北里		船曳		完全予約制
膠原病リウマチ内科								井上		山田		完全予約制
循環器内科	初診	持田	宮崎	持田	持田	安部	安部	神原	遠藤	宮崎	長谷川	初診受付 8:30~16:00
	再診	遠藤	遠藤	福井	神原	持田	市川	宮崎	島田	持田	神原	
心臓血管外科					田鎖 渡邊							
呼吸器内科		太田(替)		太田(替)		太田(宏)	本間	金井	金井	成澤		完全予約制 水 午後 第3週のみ
呼吸器外科		池田 飯田			池田			池田	飯田			
消化器内科		井田 千葉 中岡 立川		後藤 高野 有本 須藤 折原	福井	諸橋 千葉 河野 阿南	新倉 折原	後藤 桑原 新倉 福井/ 担当医	中岡 須藤 立川	諸橋 井田 高野 河野	桑原 有本 阿南	高野医師 1月22日(火)まで
泌尿器科		大塚		浅野	浅野	浅野		大塚	大塚			
外科		渡辺 森園		中山 担当医		森園 寺井 安城	友成	渡辺 担当医		渡辺 寺井 西田		
	乳腺外来 ストーム外来	鈴木	鈴木				中山	担当医	担当医	鈴木	鈴木	月金 午前受付 8:30~10:00
整形外科		井形 斉藤		大日方 穴倉		大日方 葛原		井形 穴倉		葛原 斉藤		
脳神経外科		荒川		磯島	館	担当医		磯島	荒川	松本	佐野	
ペインクリニック								市川				
皮膚科		日比野 大野	日比野 大野	乙竹 担当医	日比野 大野	日比野 大野	日比野 大野	大野	日比野 大野	日比野 大野	日比野 大野	火 午前 第1・3・5週 大野 火 午前 第2・4週 日比野
眼科		秋山 後藤田		秋山 後藤田	北原	秋山 後藤田		秋山 後藤田	担当医	秋山 後藤田		火 午後受付 13:30~16:00
耳鼻咽喉科		中島 担当医		中島		中島 白澤		中島		中島	担当医	金 午後受付 13:30~15:30 金 午後 第1・3・5週 鈴木 金 午後 第2・4週 海老原 木 第2・4週
	補聴器外来				担当医			担当医				
産婦人科	初診 婦人科再診	田岡 水谷		清木 田岡	斎藤	斎藤 北村	清木	間崎 斎藤	間崎	清木 田岡 /新津	佐久間	金 9:00~9:30 田岡 9:30~ 新津
	妊婦健診 特殊健診	長崎	田岡 平野	武井	田岡 武井	水谷	佐久間	佐久間	斎藤	間崎	清木	月 第1週除く
小児科		大沼 江口		米沢 担当医		古川 担当医		鈴木 江口	鈴木	大沼 古川		
	予防接種 乳児健診 1ヶ月健診								担当医	担当医	担当医	予約制 予約制 予約制
緩和ケア外来												



大森赤十字病院 〒143-8527 東京都大田区中央 4-30-1 TEL 03-3775-3111 fax 03-3776-0004

No.65 2019年1月10日発行

2019

大森日赤だより

1月号

Contents

- 新年のご挨拶
院長 中瀬 浩史
- 特集① 『神経内科の特徴・取り組み』
神経内科 副部長 鈴木 葉子
- 特集② 『ご家族と一緒に産院にお産に来てください』
産科部長 間崎 和夫
- 特集③ 『冬の乾燥肌によるトラブルを減らそう』
皮膚・排泄ケア認定看護師 渡邊 由美子



産婦人科病棟スタッフ

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。
 本年が皆様にとって幸い多い年となりますように
 お祈り申し上げます。



院長 中瀬 浩史

当院は東京都より地域医療支援病院に認定されております。その名に恥じないように、地域の中核病院としての責務を果たすため努力を続けて参りました。

大森赤十字病院はみなさまに次のことをお約束いたしました。

- 1. One Day Hospital** できるだけ多くの検査を即日実施へ。
 MRI・CT・超音波・血液検査などできるだけ多くの検査をその日のうちに結果を出して迅速な診療を心がけています。
- 2. 救急診療に重点を置いています。**
 循環器疾患では循環器内科・心臓血管外科の協力体制のもとCCUネットワークからの救急患者さんを多数受け入れています。
 脳卒中に対して血管内治療による血栓回収術などの超急性期高度医療を実施しています。
- 3. がん診療が拡充されました。**
 東京都より大腸がんならびに肝がんに対してがん診療連携協力病院の認定を受けております。
 大腸がんの腹腔鏡治療、食道がん・胃がん・大腸がんの内視鏡治療、肝臓がんのラジオ波治療の実績が評価されています。
 肺がんについても完全胸腔鏡下手術での肺がん治療を実施しています。
 からだに優しいがん治療を目指しています。
- 4. リハビリ重視でスムーズに在宅療養に。**
 365日休まずにリハビリテーションを実施しています。チーム医療を第一として急性期リハビリテーションのモデル病院を目指します。在宅療養にシームレスに続くリハビリテーションを目指します。
- 5. 地域医療支援病院の責務を果たします。**
 かかりつけの先生と連携して緊密な信頼関係のもと親身な診療いたします。地域在宅医療の支援を進めます。
- 6. 災害医療対策を拡充いたします。**
 災害拠点病院の指定を受けました。
 日本赤十字社の使命として災害発生時の救護活動に取り組みます。

初心に戻り、地域に必要な病院として、一步一步努力して参ります。
 本年もよろしくお祈り申し上げます。



神経内科の特徴・取り組み

神経内科 副部長 鈴木 葉子

神経内科は、心療内科や精神科とは異なり、脳・脊髄・末梢神経・筋肉の異常を取り扱う診療科です。脳卒中やパーキンソン病の他、髄膜炎やギランバレー症候群、多発性硬化症、視神経脊髄炎、脊髄小脳変性症、重症筋無力症、筋疾患、末梢神経障害などが対象疾患です。また内科の一部門として、各種内科疾患に伴う神経合併症を含め、総合的な診療を行っています。

脳卒中はもちろんですが、他の神経疾患でもできるだけ早く治療を開始したほうがよいものがいくつかあります。神経内科では早期診断・早期治療開始ができるように診療に取り組んでおります。頭部MRI検査は即日実施可能です。

以下の症状があったら、すぐに病院を受診してください。

頭痛・めまい・ふらつき・歩行障害・しびれ・話づらい・言葉が出ない・力がはらない



治療開始後、身体機能が低下しないように、入院直後からリハビリテーションを行っております。急性期病院ですが、土日・祝日もリハビリテーションを実施しています。患者さんが退院後元の生活にスムーズに戻れるように、一人ひとりに対して、手厚いケアを目指しています。週に1度、医師・看護師・リハビリテーション訓練士・メディカルソーシャルワーカー・薬剤師が集まり、退院に向けての検討会を実施しております。患者さんが、どうしたら退院後もとの生活に戻れるか、戻れないとしたらどのようにして今後の療養生活を送ったらよいかなどを話し合っています。

高齢になると誤嚥性肺炎（誤って食べ物が気道に入ってしまう肺炎を起こす）の頻度が高くなります。嚥下機能（食べ物を飲み込む機能）の評価の1つとして、医師・看護師・言語聴覚士・放射線技師で嚥下造影検査を行い、誤嚥（食べ物が誤って気道に入ってしまう）のリスク評価を行っています。また栄養状態や嚥下機能（食べ物を飲み込む機能）を把握するため、週に1度、栄養・嚥下検討会を医師・看護師・リハビリ訓練士・管理栄養士で行っています。

スタッフは神経学会専門医と同時に内科学会専門医の資格を持ち、神経疾患に限らず全身管理ができることを目指しています。

末梢神経障害や筋疾患などの診断の際に必要な電気生理検査は、エキスパート（神経生理専門医）の対応が可能です。神経学会専門医は6人と数が揃っており、年々スタッフ数が増え、一層拡充してきています。



「ご家族と一緒に産に来てください」

産科部長 間崎 和夫

はじめに

大田区の総人口はおよそ717,000人で、平成27年の大田区出生数は5,897人と報告されています（大田区ホームページより）。大田区内の分娩可能な施設は周産期センターの東邦大学医療センター大森病院の他、大森赤十字病院、東京労災病院、荏原病院、その他の医院があります。年間分娩数は東邦大学大森病院が1,000件以上、当院では700~800件(図1)を担当しております。

Q. 妊婦健診に付き添いはできますか？

妊婦健診は午前と午後に、医師と助産師で行っています。妊娠16週以降の妊婦健診はお腹のほうから超音波で赤ちゃんの検査を行うので、付き添いのご家族も一緒にお腹の中の赤ちゃんをごらんになることができます。妊娠35週以前に早産が予想される場合や、前置胎盤の場合、妊婦健診で胎児疾患が疑われる場合などは、高次医療施設の周産期センターに紹介させていただいております。リスクが低いと診断された場合は、ご希望があればリフレッシュする目的で、助産師とともにマタニティビクスなどを行うことも可能です。



Q. 立ち会い分娩はできますか？

陣痛が始まって入院してからは助産師が主に診察を行い、分娩時は医師も一緒にお手伝いします。ご希望があれば陣痛室でのご家族の付き添いや、分娩室にはおふたりまでご家族の立ち会いができます。当院の経膈分娩でのご家族の立ち合いの割合は69%でした。分娩経過に異常があれば全力で対応します。当院の分娩様式は自然分娩が76%、吸引・鉗子分娩が7%、予定帝王切開術が10%、緊急帝王切開術7%でした。

Q. 早期母子接触って何ですか？

無事にお産が終わったときのお母様、ご家族のお喜びは他に代わるものではありません。当院では事前にご希望があり、母子ともに問題がなければ、分娩室で赤ちゃんにおっぱいをすわせる早期母子接触を行っています。女性にとって赤ちゃんにおっぱいを吸ってもらうのは最も幸せな時間だと思います。産後は授乳に慣れていただくよう、退院まで助産師がお手伝いします。



Q. 婦人科の手術にはどんなやり方がありますか？

婦人科疾患の子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症性嚢胞、卵巣嚢腫などは若い女性に多く、手術適応のある場合は腹腔鏡下手術を年間およそ80件行っています。腹腔鏡下手術で対応困難な場合は、開腹手術を年間およそ20件前後行っております。また若い女性に多いとされる子宮頸部腫瘍に対しては、ドックの子宮癌検診でスクリーニングを行っています。スクリーニングで異常が指摘された場合はコルポスコピーで精密検査を行い、子宮頸部高度異形成~上皮内癌と診断された場合は腔鏡に子宮頸部円錐切除術を行っています。

Q. 女性ヘルスケアって何ですか？

女性ヘルスケアとは思春期から老年期まで、女性に特有な心身にまつわる問題を診断・治療・予防するものです。月経時に随伴して起こる下腹痛などを月経困難症といい、この場合はまず子宮内膜症や子宮腺筋症などの器質的疾患がないかを調べます。器質的疾患がある場合は手術適応があるかどうかを判断します。器質的疾患がない場合は機能性月経困難症といい、鎮痛剤や低用量の女性ホルモンなどで治療を行います。

更年期以降ではホットフラッシュに対してホルモン補充療法を行ったり、骨盤臓器脱（子宮下垂）などの管理を行っています。大田区の女性の平均寿命は86歳とされていますが、介護を必要としない自立して生活できる期間を長くすることが重要です。



まとめ

おめでたになったら、ぜひご家族と一緒に赤ちゃんを産みにいらして下さい。手術適応のある婦人科疾患に対しては疾患の程度やご希望を確認し、手術の選択を行っています。悪性疾患に対しては早期に診断するよう婦人科検診でお待ちしています。女性ヘルスケアについては、思春期から更年期以降まで対応しておりますので、女性に特有な心身の問題が疑われる場合は産婦人科外来を受診して下さい。

冬の乾燥による肌トラブルを減らそう！

～乾燥肌のケアについて～

皮膚・排泄ケア認定看護師 渡邊 由美子

■乾燥肌とは

外気が乾燥してくるこの季節、腕や足が乾燥し、痒くなったり・・・という経験はありませんか？これを乾燥肌…ドライスキンとも言います。乾燥肌とは、皮膚の一番外側にある角質層に含まれる水分量が減少して皮膚が乾燥を起こした状態です。さらに皮膚の皮脂腺から分泌された皮脂によって角質層を覆い水分を保ちますが、加齢や皮膚の病気、炊事、洗濯に使う洗剤やお湯によっても乾燥肌になります。

特に乾燥しやすいのは、もともと皮脂の分泌が少ない脛（すね）、膝、肘、足の裏などの部位です。顔では、頬や目、口のまわりなどが乾燥しやすくなります。



■乾燥肌のケア

正しい入浴とスキンケアで潤いを保つ

■こすりすぎは禁物

汚れを落とすことは大切なことですが、硬いナイロンタオルでゴシゴシと強くこすりすぎると肌を傷つけてしまいます。肌への刺激が少ない柔らかいボディタオルなどで泡立ててから、泡でやさしくマッサージするイメージで洗いましょう。最近では、泡のボディソープが市販で売られています。

■入浴剤を上手に使う 保湿効果のある入浴剤を使用することもおすすめです。

■お湯はぬるめに

熱すぎる湯のお風呂は、肌にとって必要な皮脂までとってしまい乾燥を助長させます。お湯は 40 度を超えない温度が適温です。40 度のお湯に 15 分程度浸かるだけで十分に体は温まります。

■お風呂上りは早めの保湿をしましょう

入浴後の肌は皮脂膜がとれ、乾燥しやすい状態になっています。そのままにしておくとドンドン水分が失われていくので 15 分以内にボディローションやクリームなどの保湿剤を塗ってスキンケアをしましょう。

エアコンなどによる乾燥の対策をする

エアコンの長時間使用、過度の暖房、コタツ、電気毛布の長時間使用は皮膚を乾燥させるので注意しましょう。暖房は 24～26℃、湿度は 60%以上を保ちましょう。

自宅では気候に応じて加湿器を使いましょう。また職場など加湿の調整ができない場合は、保湿成分が配合されたミスト化粧水などを携帯し、潤いを補うこともおすすめです。

かゆみを引き起こす刺激物は避ける

肌着は肌触りがよく、柔らかいものを着用しましょう。
飲酒や香辛料など刺激物は、かゆみが出やすいので控えましょう。

十分に睡眠をとる

睡眠不足は新陳代謝が遅れてしまい、皮膚細胞の代謝も悪くなるのでしっかりと睡眠をとりましょう。最低でも 6 時間程度は睡眠時間を確保しましょう。

バランスのよい食事で肌を丈夫にする

食事はバランスよくとりましょう。特に肉、魚、大豆製品などのタンパク質は肌細胞を生成する大切な栄養素です。また免疫力を高めるビタミン C、新陳代謝を促進するビタミン A、皮膚や粘膜を保護するビタミン B₂ や B₆ などのビタミン類も肌に密接な関係があります。野菜や果物を毎日の食事にとり入れてバランスよく摂取するようにしましょう。

【バランスの良い食生活を】



※ 気をつけることがたくさんあって大変ですが、できることから少しずつ日々の生活に取り入れてみてください！！

当院への交通のご案内

京浜東北線 「大森駅」(約 8 分)

西口より東急バス①～④番「大田文化の森」下車

東急池上線 「池上駅」(約 10 分)

東急バス「大森駅」行き「入新井第四小学校」下車

東急大井町線 「荏原町駅」(約 10 分)

東急バス「蒲田駅」「大森駅」行き「大森日赤前」下車

車

首都高速 湾岸線 「大井南」出口下車 (約 18 分)
首都高速 1 号羽田線 「平和島」出口下車 (約 15 分)
首都高速 2 号目黒線 「戸越」出口下車 (約 16 分)

駐車場のご案内

立体駐車場 (107 台) 車椅子用駐車場 (2 台)
【料金】最初の 30 分無料 以降 30 分 100 円
入庫後 24 時間 最大 1,000 円
※患者・面会者に限る